



津島北高校を 指定緊急避難場所に

真野 和久議員

活用できるよう働きかけていきたい
企画政策部長



▲津島北高等学校を避難場所に

問 本市は濃尾平野の下流部の低い平地にあり、風水害による浸水の危険が高い地域だ。浸水に対応した指定緊急避難場所の設置状況は。

答 市内の指定緊急避難場所76カ所中、洪水災害に対応しているのは72カ所。

問 永和地区のヘリポートについて、指定緊急避難場所としての活用は。

答 指定は考えていない。

問 浸水や津波の危険がある場合、「近くの住民が避難できないのか」との声がある。自主的に避難ができないか。

答 逃げ遅れたような場合、命を守る行動として一時的に避難するのを拒むものではない。

問 佐織地区の町方町地内では、「高い建物がない」という声が地元からよく寄せられる。津島北高校を指定緊急避難場所

問 学校規模に関わらず、少人数学級など教育環境や教育内容が変化することで、行政の学校に対する支援が求められている。中でも、小規模校が置かれていた状況として、教員が少ないための負担や教科担任などの問題、学校行事などへの保護者の負担の課題などがある。維持・存続のため特別な対応、支援の充実が必要では。

**統廃合より
小規模校に支援の
充実を**

答 学校規模に関わらず全ての学校で適切な教育が行われるよう取り組んでいきたい。